

やいづ観光案内人の会のみなさん

自然、歴史、文化など焼津の魅力を紹介

議員が直接話を聞いて市民の本音に迫る「市民インタビュー」。今回は、やいづ観光案内人の会のみなさんにお話を伺いました。

1. やいづ観光案内人の会の活動について教えてください！

やいづ観光案内人の会は平成29年5月に発足しました。観光協会主催の観光ガイドボランティア養成講座で2年間、焼津の自然、歴史、文化などを学んでいたメンバーが、勉強会終了にあたり、有志で立ち上げました。現在の会員数は、大学生から85歳までの31名で、60〜70代が中心となって活動しています

現在は「花沢の里」、「浜通り」、「小泉八雲ゆかりの地」の3つのコースを案内しています。希望日の一週間前までに事務局（焼津市

観光協会内）に申込みしていただき、各コースのリーダーが調整してガイドの選定をしています。

そのほかに「出前講座」も行っています。花沢の里コースと浜通りコースを写真や動画を映しながらガイドし、現地を歩けない方も焼津の魅力を知ることができま



金井さん

2. 焼津はどんなまち？

やはり魚のまちだと思います。また、焼津市民歌のとおり、「海・山・空」と、自然があふれ、自然に触れあえるまちだと思うので大事にしたいです。



〈インタビュー〉
岡田光正 議員

漁業を主産業としてきたまちなのですが、観光分野においては、まだアピールできるものがたくさんあると感じています。たとえば、焼津は山よりも海のイメージがありますが、花沢の里に行ってみると風光明媚なところで、自然の中をゆったり歩くのは、健康寿命を延ばすためにもちょうどいいと思います。

また、小泉八雲が焼津を度々訪れるなど、外国人の方を受け入れる心広い一面もあると思います。そのため、外国の方も観光などで訪れやすいのではないのでしょうか。

みんなが焼津を知り、「焼津にはおもしろいところがあるよ」という風潮になれば、もっと盛り上がっていくと思います。



久保山さん

3. 行政や議会について思っていることは？

法華寺の大修理や花沢地区ビジターセンターの整備など、市の取り組みに感謝しています。今後さらに市でも、議会でも観光分野に力を入れて取り組んでいただけたらと思っています。また、子どものころから焼津のことを学ぶ機会を増やしてもいい、焼津っておもしろいまちな、みんなでおいでよと言えるようになればいいですね。焼津の子どもたちと話していると、焼津の歴史をもっと知っ

てもらいたいと感じます。焼津のことを知って焼津に愛着を持つことで、県外に出てもいつか必ず帰ってくると思います。

4. これからの目標や焼津を元気にするためにやってみたいことは？

現在は3コースを案内していますが、大井川地区のコースを具体的に検討していきたいと思っています。また、既存のコースについても、周辺に範囲を広げてニーズに合ったものを作り上げていきたいです。

また、私たち観光案内人がタクシーのついでガイドする観光タクシーができないか、働きかけているところです。市内には焼津を盛り上げようと活動している団体が



鈴木さん



〈インタビュー〉
松島和久 議員

ありますが、各々に活動しているので、もっと連携していきたいです。連携することで、まだまだ知らない焼津の魅力を案内できるようになると思います。

そのほかには「やいづ検定」を作りたいと思っています。さらに多くの方に焼津を知ってもらおうきっかけになればと考えています。

これからも観光案内を通じて、大好きな焼津のことを多くの方に伝えていきます。

インタビューに 答えてくれた皆さん

会 長 金井富保さん
副会長 久保山恵里さん
花沢コース担当 鈴木良明さん



浜通りで小学生を案内
(写真提供：一般社団法人焼津市観光協会)

〈観光ガイドの申し込み方法〉

申込：希望日の1週間前までに(一社)焼津市観光協会内の事務局まで
人数：1名からガイド可(団体も歓迎)
費用：無料(※運営協力費としてガイド1人につき1,000円をお願いしています。)
時間、コース内容等、詳しくはお問い合わせください。(☎054-626-6266)
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況により活動を自粛します。